

基本計画書

基本計画書																																			
事項	記入欄							備考																											
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更																																		
フリガナ設置者	カッポホウジン キタトケキョウジョ 学校法人 北里研究所																																		
フリガナ大学の名称	キタトゲイグク 北里大学 (Kitasato University)																																		
大学本部の位置	東京都港区白金5丁目9番1号																																		
大学の目的	本大学は、北里柴三郎博士の精神に則り、生命科学及び医療科学分野における学術研究と人材育成を通して、広く社会の発展のために寄与することを目的とする。																																		
新設学部等の目的	地域の医師確保等に早急に対応するため、医学部入学定員を増加し、下記地域の医師不足解消に貢献することを目的とする。 (埼玉県2名、山梨県2名、新潟県3名、茨城県4名、神奈川県5名)																																		
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地																											
	薬学部 【School of Pharmacy】 薬学科(6年制) 【Faculty of Pharmacy】	6	260	—	1,560	学士(薬学) 【Bachelor of Pharmacy】	平成18年4月 第1年次	東京都港区白金 5丁目9番1号																											
	生命創薬科学科 【Department of Pharmaceutical Life Sciences】	4	35	—	140	学士(薬科学) 【Bachelor of Pharmaceutical Sciences】	平成18年4月 第1年次	同上																											
	獣医学部 【School of Veterinary Medicine】 獣医学科 【Faculty of Veterinary Medicine】	6	120	—	720	学士(獣医学) 【Bachelor of Veterinary Medicine】	平成19年4月 第1年次	青森県十和田市 東二十三番町35番1号																											
	動物資源科学科 【Department of Animal Science】	4	130	—	520	学士(農学) 【Bachelor of Agriculture】	平成19年4月 第1年次	同上																											
	生物環境科学科 【Department of Environmental Bioscience】	4	90	—	360	学士(農学) 【Bachelor of Agriculture】	平成19年4月 第1年次	同上																											
	医学部 【School of Medicine】 医学科 【Faculty of Medicine】	6	125 (109)	—	675 (659)	学士(医学) 【Bachelor of Medicine】	令和5年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号																											
	海洋生命科学部 【School of Marine Biosciences】 海洋生命科学科 【Department of Marine Biosciences】	4	180	—	720	学士(水産学) 【Bachelor of Fisheries Sciences】	平成12年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号																											
									医学部医学科の今回の16名の入学定員の増員は令和5年度のみ臨時定員増である。また、医学部医学科の令和4年度における収容定員は713人である。																										
									<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和4年度</td><td>120</td><td>713</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>125</td><td>719</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>110</td><td>710</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>110</td><td>701</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>110</td><td>693</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>110</td><td>685</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>110</td><td>675</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>110</td><td>660</td></tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和4年度	120	713	令和5年度	125	719	令和6年度	110	710	令和7年度	110	701	令和8年度	110	693	令和9年度	110	685	令和10年度	110	675	令和11年度	110
(人)	入学定員	収容定員																																	
令和4年度	120	713																																	
令和5年度	125	719																																	
令和6年度	110	710																																	
令和7年度	110	701																																	
令和8年度	110	693																																	
令和9年度	110	685																																	
令和10年度	110	675																																	
令和11年度	110	660																																	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	看護学部 【School of Nursing】 看護学科 【Department of Nursing】	4	125	—	500	学士(看護学) 【Bachelor of Nursing】	昭和61年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里2丁目1番1号
理学部 【School of Science】 物理学科 【Department of Physics】	4	53	—	212	学士(理学) 【Bachelor of Science】	平成6年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号	
化学科 【Department of Chemistry】	4	80	—	320	学士(理学) 【Bachelor of Science】	平成6年4月 第1年次	同上	
生物科学科 【Department of Biosciences】	4	80	—	320	学士(理学) 【Bachelor of Science】	平成6年4月 第1年次	同上	
医療衛生学部 【School of Allied Health Sciences】 保健衛生学科 【Department of Health Science】	4	40	—	160	学士(保健衛生学) 【Bachelor of Health Science】	平成18年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号	
医療検査学科 【Department of Medical Laboratory Sciences】	4	105	—	420	学士(医療検査学) 【Bachelor of Medical Laboratory Sciences】	平成18年4月 第1年次	同上	
医療工学科 【Department of Medical Engineering and Technology】						平成6年4月 第1年次	同上	
臨床工学専攻 【Clinical Engineering Course】	4	45	—	180	学士(臨床工学) 【Bachelor of Clinical Engineering】			
診療放射線技術科学専攻 【Radiological Technology Course】	4	70	—	280	学士(診療放射線技術科学) 【Bachelor of Radiological Technology】			
リハビリテーション学科 【Department of Rehabilitation】 理学療法学専攻 【Physical Therapy Course】	4	45	—	180	学士(理学療法学) 【Bachelor of Physical Therapy】	平成6年4月 第1年次	同上	
作業療法学専攻 【Occupational Therapy Course】	4	40	—	160	学士(作業療法学) 【Bachelor of Occupational Therapy】			
言語聴覚療法学専攻 【Speech Therapy Course】	4	30	—	120	学士(言語聴覚療法学) 【Bachelor of Speech Therapy】			
視覚機能療法学専攻 【Orthoptics and Visual Science Course】	4	30	—	120	学士(視覚機能療法学) 【Bachelor of Orthoptics and Visual Science】			
未来工学部 【School of Frontier Engineering】 データサイエンス学科 【Department of Data Science】	4	100	—	400	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	令和5年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号	
計		1,783 (1,767)	—	8,067 (8,051)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	未来工学部	(100)	(令和4年3月認可申請)					
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	-	- 科目	- 科目	- 科目	- 科目	- 単位		

教員	学部等の名称	専任教員等					兼任 教員等		
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	薬学部 薬学科	19人 (19)	11人 (11)	23人 (23)	50人 (50)	103人 (103)	0人 (0)	297人 (297)	
	薬学部 生命創薬科学科	4人 (4)	0人 (0)	5人 (5)	7人 (7)	16人 (16)	0人 (0)	78人 (78)	
	獣医学部 獣医学科	17人 (17)	10人 (10)	11人 (11)	13人 (13)	51人 (51)	1人 (1)	33人 (33)	
	獣医学部 動物資源科学科	6人 (6)	5人 (5)	5人 (5)	3人 (3)	19人 (19)	0人 (0)	41人 (41)	
	獣医学部 生物環境科学科	5人 (5)	2人 (2)	3人 (3)	2人 (2)	12人 (12)	0人 (0)	32人 (32)	
	獣医学部 その他	2人 (2)	2人 (2)	2人 (2)	3人 (3)	9人 (9)	0人 (0)	0人 (0)	
	医学部 医学科	70人 (70)	42人 (42)	108人 (108)	502人 (502)	722人 (722)	0人 (0)	245人 (245)	
	海洋生命科学部 海洋生命科学科	11人 (11)	9人 (9)	8人 (8)	0人 (0)	28人 (28)	0人 (0)	29人 (29)	
	海洋生命科学部 その他	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	1人 (1)	2人 (2)	1人 (1)	0人 (0)	
	看護学部 看護学科	9人 (9)	10人 (10)	11人 (11)	12人 (12)	42人 (42)	0人 (0)	172人 (172)	
	看護学部 その他	1人 (1)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	
	理学部 物理学科	4人 (4)	3人 (3)	7人 (7)	2人 (2)	16人 (16)	0人 (0)	13人 (13)	
	理学部 化学科	4人 (4)	4人 (4)	4人 (4)	4人 (4)	16人 (16)	0人 (0)	25人 (25)	
	理学部 生物科学科	4人 (4)	2人 (2)	5人 (5)	5人 (5)	16人 (16)	0人 (0)	34人 (34)	
	理学部 その他	1人 (1)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	2人 (2)	0人 (0)	3人 (3)	
	組	医療衛生学部 保健衛生学科	4人 (4)	1人 (1)	6人 (6)	1人 (1)	12人 (12)	0人 (0)	36人 (36)
医療衛生学部 医療検査学科		8人 (8)	1人 (1)	5人 (5)	7人 (7)	21人 (21)	0人 (0)	142人 (142)	
医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻		4人 (4)	2人 (2)	4人 (4)	2人 (2)	12人 (12)	0人 (0)	75人 (75)	
医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻		3人 (3)	3人 (3)	4人 (4)	3人 (3)	13人 (13)	0人 (0)	94人 (94)	
医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻		4人 (4)	2人 (2)	5人 (5)	1人 (1)	12人 (12)	0人 (0)	71人 (71)	
医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法専攻		3人 (3)	1人 (1)	4人 (4)	2人 (2)	10人 (10)	0人 (0)	47人 (47)	
医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法専攻		3人 (3)	2人 (2)	2人 (2)	2人 (2)	9人 (9)	0人 (0)	57人 (57)	
医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法専攻		3人 (3)	1人 (1)	3人 (3)	1人 (1)	8人 (8)	1人 (1)	42人 (42)	
医療衛生学部 その他		4人 (4)	5人 (5)	6人 (6)	3人 (3)	18人 (18)	0人 (0)	0人 (0)	
未来工学部 データサイエンス学科		7人 (7)	3人 (3)	3人 (3)	3人 (3)	16人 (16)	0人 (0)	129人 (129)	
計		201人 (197)	123人 (121)	234人 (232)	629人 (628)	1,187人 (1178)	3人 (3)	— (—)	
概		一般教育部 自然科学教育センター	5人 (5)	6人 (6)	8人 (8)	4人 (4)	23人 (23)	0人 (0)	8人 (8)
		一般教育部 人間科学教育センター	5人 (5)	5人 (5)	4人 (4)	0人 (0)	14人 (16)	0人 (0)	43人 (43)
		一般教育部 基礎教育センター	5人 (5)	7人 (7)	5人 (5)	0人 (0)	17人 (19)	0人 (0)	33人 (33)
		健康管理センター	1人 (1)	2人 (2)	2人 (2)	3人 (3)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)
		看護キャリア開発・研究センター	0人 (0)	0人 (0)	1人 (1)	0人 (0)	1人 (3)	0人 (0)	105人 (105)
	教職課程センター	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	2人 (2)	
	北里大学	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	
計	17人 (17)	20人 (20)	20人 (20)	7人 (7)	64人 (64)	0人 (0)	— (—)		
要	合計	218人 (214)	143人 (141)	254人 (252)	636人 (635)	1,251人 (1242)	3人 (3)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計		
	事 務 職 員		279人 (279)	133人 (133)	412人 (412)		
	技 術 職 員		92人 (92)	64人 (64)	156人 (156)		
	図 書 館 専 門 職 員		20人 (20)	11人 (11)	31人 (31)		
	そ の 他 の 職 員		23人 (23)	30人 (30)	53人 (53)		
計		414人 (414)	238人 (238)	652人 (652)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	544,927.87㎡	0㎡	0㎡	544,927.87㎡		
	運 動 場 用 地	103,528.00㎡	0㎡	0㎡	103,528.00㎡		
	小 計	648,455.87㎡	0㎡	0㎡	648,455.87㎡		
	そ の 他	11,141,310.80㎡	0㎡	0㎡	11,141,310.80㎡		
合 計		11,789,766.67㎡	0㎡	0㎡	11,789,766.67㎡		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
		254,400.06㎡ (247,880.06㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	254,400.06㎡ (247,880.06㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	186室	89室	286室	10室 (補助職員 4人)	3室 (補助職員 5人)		
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数		
		大学全体			484 室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
		342,175 [58,337]	266,939 [160,096]	55,623 [42,345]	10,506 (10,506)	43,944 (41,863)	149,787 (149,787)
	計	342,175 [58,337]	266,939 [160,096]	55,623 [42,345]	10,506 (10,506)	43,944 (41,863)	149,787 (149,787)
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		
		7,648.87㎡	1,223		705,585		
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				
		9,498.79㎡	○相模原地区 ・野球場 1面 ・テニスコート 7面 ・サッカーコート2面 ・ラグビーコート1面 ・陸上競技場 1面 ・ゴルフ練習場 1箇所 ・弓道場 1箇所		○十和田地区 ・テニスコート 2面 ・馬場 1箇所		

経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※大学全体 ※図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費 (運用コスト含 む)を含む。
	教員1人当り研究費等		957千円	957千円	957千円	957千円	957千円	957千円	
	共同研究費等		1,356,458千円	1,356,458千円	1,356,458千円	1,356,458千円	1,356,458千円	1,356,458千円	
	図書購入費	323,979千円	273,677千円	273,677千円	273,677千円	273,677千円	223,697千円	223,697千円	
	設備購入費	1,194,013千円	1,626,854千円	2,470,027千円	551,027千円	551,027千円	551,027千円	551,027千円	
学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
経費の見積り 及び維持方法 の概要	薬学部								
	薬学科	2,350千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	
	薬学科 (2年次編入)	—	2,450千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	
	生命創薬科学科	2,070千円	1,670千円	1,670千円	1,670千円	—	—	—	
	生命創薬科学科 (2年次編入)	—	2,070千円	1,670千円	1,670千円	—	—	—	
	獣医学部								
	獣医学科	2,330千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	
	獣医学科 (2年次学士入学)	—	2,430千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	2,130千円	
	動物資源科学科	1,350千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	—	—	—	
	生物環境科学科	1,350千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	—	—	—	
	医学部	9,000千円	6,400千円	6,400千円	5,700千円	5,700千円	5,700千円	5,700千円	
	医学部 (1年次9月学士入学)	5,870千円	6,400千円	6,400千円	5,700千円	5,700千円	5,700千円	5,700千円	
	海洋生命科学部	1,400千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	—	—	—	
	看護学部	1,900千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	—	—	—	
	理学部								
	物理学科	1,663千円	1,513千円	1,513千円	1,513千円	—	—	—	
	化学科	1,663千円	1,513千円	1,513千円	1,513千円	—	—	—	
	生物科学科	1,713千円	1,613千円	1,613千円	1,613千円	—	—	—	
	医療衛生学部	1,800千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	—	—	—	
	医療衛生学部 (2年次編入)	—	1,950千円	1,750千円	1,750千円	—	—	—	
	医療衛生学部 (3年次編入)	—	—	1,950千円	1,750千円	—	—	—	
	医療衛生学部 (4年次編入)	—	—	—	1,950千円	—	—	—	
	未来工学部	1,650千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	—	—	—	
	薬学研究科修士課程	850千円	650千円	—	—	—	—	—	
	薬学研究科博士課程								
	薬学専攻	950千円	750千円	750千円	750千円	—	—	—	
	薬科学専攻	950千円	750千円	750千円	—	—	—	—	
	獣医学系研究科修士課程	650千円	450千円	—	—	—	—	—	
	獣医学系研究科博士課程								
	獣医学専攻	650千円	450千円	450千円	450千円	—	—	—	
	動物資源科学専攻	650千円	450千円	450千円	—	—	—	—	
	海洋生命科学研究科修士課程	800千円	550千円	—	—	—	—	—	
海洋生命科学研究科博士課程	800千円	550千円	550千円	—	—	—	—		
看護学研究科修士課程 (看護学研究コース)	830千円	630千円	—	—	—	—	—		
看護学研究科修士課程 (高度実践看護学コース)	950千円	750千円	—	—	—	—	—		
看護学研究科博士課程	950千円	750千円	750千円	—	—	—	—		
理学研究科修士課程	950千円	750千円	—	—	—	—	—		
理学研究科博士課程	950千円	750千円	750千円	—	—	—	—		
医療系研究科修士課程 (臨床心理学コース以外)	985千円	785千円	—	—	—	—	—		
医療系研究科修士課程 (臨床心理学コース)	1,150千円	950千円	—	—	—	—	—		
医療系研究科博士課程	985千円	785千円	785千円	785千円	—	—	—		
感染制御科学府修士課程	950千円	750千円	—	—	—	—	—		
感染制御科学府博士課程	950千円	750千円	750千円	—	—	—	—		

既設大学等の状況	大学の名称	北里大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	薬学部								東京都港区白金5丁目9番1号	
	薬学科	6	260	—	1,560	学士(薬学)	1.02	平成18年度		
	生命創薬科学科	4	35	—	140	学士(薬科学)	1.03	平成18年度		
	獣医学部								青森県十和田市東二十三番町35番1号	
	獣医学科	6	120	—	720	学士(獣医学)	1.06	平成19年度		
	動物資源科学科	4	130	—	520	学士(農学)	0.99	平成19年度		
	生物環境科学科	4	90	—	360	学士(農学)	0.84	平成19年度		
	医学部								神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号	令和2～5年度のみ臨時定員減(△1人)
	医学科	6	120	—	713	学士(医学)	1.00	昭和45年度		令和2～3年度のみ臨時定員増(9人)
	海洋生命科学部								神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号	令和4年度のみ臨時定員増(11人)
	海洋生命科学科	4	180	—	720	学士(水産学)	1.06	平成12年度		
	看護学部								神奈川県相模原市南区北里2丁目1番1号	
	看護学科	4	125	—	500	学士(看護学)	1.05	昭和61年度		
	理学部						1.06		神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号	
	物理学科	4	53	—	212	学士(理学)	1.08	平成6年度		
	化学科	4	80	—	320	学士(理学)	1.06	平成6年度		
	生物科学科	4	80	—	320	学士(理学)	1.07	平成6年度		
	医療衛生学部						1.03		神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号	
	保健衛生学科	4	40	—	160	学士(保健衛生学)	0.96	平成18年度		
	医療検査学科	4	105	—	420	学士(医療検査学)	1.04	平成18年度		
	医療工学科						1.04	平成6年度		
	臨床工学専攻	4	45	—	180	学士(臨床工学)	1.04			
	診療放射線技術学専攻	4	70	—	280	学士(診療放射線技術科学)	1.04			
	リハビリテーション学科						1.04	平成6年度		
	理学療法学専攻	4	45	—	180	学士(理学療法学)	1.03			
	作業療法学専攻	4	40	—	160	学士(作業療法学)	1.06			
	言語聴覚療法学専攻	4	30	—	120	学士(言語聴覚療法学)	1.03			
	視覚機能療法学専攻	4	30	—	120	学士(視覚機能療法学)	1.05			

大学等の名称	北里大学大学院								
	修業年限	入学定員	編入学員 年次人	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
既設大学等の状況	薬学研究科 薬科学専攻修士課程	2	25	—	50	修士(薬科学) 修士(臨床統計学) 修士(医薬開発学)	1.48	平成22年度	東京都港区白金 5丁目9番1号
	薬科学専攻博士後期課程	3	6	—	18	博士(薬科学) 博士(臨床統計学) 博士(医薬開発学)	1.22	平成24年度	
	薬学専攻博士課程	4	3	—	12	博士(薬学)	0.41	平成24年度	
	獣医学系研究科 動物資源科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(農学)	1.90	昭和45年度	青森県十和田市 東二十三番町35番1号
	生物環境科学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(農学)	0.30	昭和62年度	
	動物資源科学専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(農学)	0.33	昭和47年度	
	獣医学専攻博士課程	4	3	—	12	博士(獣医学)	1.58	平成2年度	
	海洋生命科学系研究科 海洋生命科学専攻修士課程	2	12	—	24	修士(水産学)	2.45	平成12年度	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号
	海洋生命科学専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(水産学)	0.44	平成12年度	
	看護学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士(看護学)	0.53	平成2年度	神奈川県相模原市南区 北里2丁目1番1号
	看護学専攻博士後期課程	3	4	—	12	博士(看護学)	0.58	平成9年度	
	理学研究科 分子科学専攻修士課程	2	14	—	28	修士(理学) 修士(生命科学)	1.24	平成10年度	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号
	生物科学専攻修士課程	2	11	—	22	修士(理学) 修士(生命科学)	1.22	平成10年度	
	分子科学専攻博士後期課程	3	2	—	6	博士(理学) 博士(生命科学)	0.50	平成10年度	
	生物科学専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(理学) 博士(生命科学)	0.33	平成10年度	
	医療系研究科 医科学専攻修士課程	2	40	—	80	修士(医科学) 修士(医療科学)	1.61	平成10年度	神奈川県相模原市南区 北里1丁目15番1号
	医学専攻博士課程	4	40	—	160	博士(医学) 博士(医科学)	0.72	平成10年度	
	感染制御科学府 感染制御科学専攻修士課程	2	18	—	36	修士(感染制御科学) 修士(生命科学)	1.02	平成14年度	
	感染制御科学専攻博士後期課程	3	4	—	12	博士(感染制御科学) 博士(生命科学)	0.50	平成16年度	

附属施設の概要

名称：北里大学病院
 目的：大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）に定める大学病院及び医療法（昭和23年法律第205号）に定める特定機能病院として、高度な医療の提供、高度な医療技術の開発及び評価並びに医療に関する教育、研修等の諸活動を遂行し、地域医療及び広く人類の健康福祉に貢献する。
 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：昭和46年4月5日
 規模等：地上14階地下1階 92,776㎡
 診療科 33科
 病床数 1,200床
 外来患者数 2,422.0人／日
 入院患者数 827.3人／日

名称：北里大学北里研究所病院
 目的：医療法による医療機関として北里医学の原点である土筆ヶ岡養生園以来の伝統を継承し、臨床・教育・研究・危機管理の高次の均衡ある医療を実現し、医療全体の発展に寄与する。
 所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：平成20年4月1日
 規模等：地上10階地下2階 24,796㎡
 診療科 22科
 病床数 329床
 外来患者数 713.8人／日
 入院患者数 136.0人／日

名称：北里大学メディカルセンター
 目的：医療法による医療機関として地域の医療を担い、また、教育及び研究の施設としての任務を果たすとともに、広く人類の健康福祉に関する学術の研究発展に寄与する。
 所在地：埼玉県北本市荒井6丁目100番地
 設置年月：平成20年4月1日
 規模等：地上6階地下2階 30,770.79㎡
 診療科 24科
 病床数 372床
 外来患者数 592.4人／日
 入院患者数 215.2人／日

名称：北里大学図書館 北里大学白金図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。
 所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：昭和39年4月1日
 規模等：面積 1,086.84㎡
 閲覧席数 182席 蔵書数 80,810冊

名称：北里大学図書館 北里大学獣医学部図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。
 所在地：青森県十和田市東二十三番町35番1号
 設置年月：昭和51年3月31日
 規模等：面積 1,302.87㎡
 閲覧席数 222席 蔵書数 31,840冊

名称：北里大学図書館 北里大学医学図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。
 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：昭和45年6月23日
 規模等：面積 3,042.20㎡
 閲覧席数 495席 蔵書数 34,608冊

名称：北里大学図書館 北里大学海洋生命科学部図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。
 所在地：岩手県大船渡市三陸町越喜来字烏頭160番地4
 設置年月：昭和47年4月1日
 規模等：面積 58.55㎡
 閲覧席数 117席 蔵書数 8,078冊

附属施設の概要

名称：北里大学図書館 北里大学看護学部図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里二丁目1番1号
 設置年月：昭和61年4月1日
 規模等：面積 430.80㎡
 閲覧席数 58席 蔵書数 29,738冊

名称：北里大学図書館 北里大学理学部図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成10年4月1日
 規模等：面積 314.70㎡
 閲覧席数 76席 蔵書数 30,388冊

名称：北里大学図書館 北里大学教養図書館
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：昭和43年4月1日
 規模等：面積 1,500.04㎡
 閲覧席数 190席 蔵書数 113,200冊

名称：北里大学図書館 北里大学臨床教育研究棟図書館（医学図書館分館）
 目的：本大学における教育研究等の活動に必要な図書及び資料等を収集し、及び整理し、これを効果的な利用に供するとともに文献その他の情報サービスを行い、本大学の教育研究等の充実及び発展に寄与する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成29年9月4日
 規模等：面積 924.58㎡
 閲覧席数 246席 蔵書数 16,200冊

名称：大村智記念研究所
 目的：感染症と付随する各種重要疾病の原因・予防・治療法に関する研究と教育を行う。

所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：平成13年4月1日

名称：北里大学東洋医学総合研究所
 目的：東洋医学の研究・教育及び漢方治療と鍼灸治療の時代に即応した診療を実施する。

所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：平成20年4月1日

名称：北里大学入学センター
 目的：学生の入学に関する調査研究，入学試験の実施、学生募集にかかる広報を行う。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成15年7月12日

名称：北里大学健康管理センター
 目的：学生及び教職員に係る保健管理・健診事業を実施する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成13年3月16日

名称：北里大学高等教育開発センター
 目的：学士課程教育プログラムや教材の開発及び教育活動の継続的な改善の推進・支援を行う。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成19年4月1日

名称：北里大学農医連携教育開発センター
 目的：食糧生産にかかわる農学と人間の健康増進に関わる人材を育成する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成25年4月1日

名称：北里大学教職課程センター
 目的：大学及び大学院の教職課程の基本方針を企画・立案・検討し、教職課程教育の充実及び発展に寄与する。

所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成25年4月1日

附属施設の概要

名称：北里大学看護キャリア開発・研究センター
 目的：地域看護職者のキャリア支援ならびに看護実践の向上に資する研究事業を実施する。
 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成19年4月1日

名称：北里大学附属臨床心理相談センター
 目的：地域住民の様々なこころの問題などについて相談を受ける。
 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：平成24年4月1日

名称：八雲総合実習所
 目的：学生の正課教育・課外活動等に利用する。
 所在地：北海道二海郡八雲町上八雲751番地
 設置年月：昭和53年7月23日
 規模等：鉄筋コンクリート造5階建 1,336.98㎡

名称：薬学部附属薬用植物園
 目的：標本園、試験圃場及び附属建物を設け、薬用植物に関連する調査及び研究を行うとともに、薬学部及び大学院薬学研究科の教育及び研究に寄与する。
 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号
 設置年月：昭和47年7月1日
 規模等：園地 4,826.0㎡
 ドーム型温室 145.72㎡
 温室管理棟 509.22㎡
 植栽植物 891点
 生薬・さく葉標本 18,739点

名称：薬学部附属医薬研究施設
 目的：医薬品の研究を行う。
 所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：昭和50年9月1日

名称：薬学部附属臨床薬学研究・教育センター
 目的：臨床薬学教育を推進する。
 所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：平成7年4月1日

名称：薬学部附属環境管理センター
 目的：化学薬品、特に有害化学物質、毒・劇物危険物の管理などを行う。
 所在地：東京都港区白金五丁目9番1号
 設置年月：平成7年4月1日

名称：獣医学部附属動物病院
 目的：獣医学の教育及び研究の施設としての機能を果たすため、動物の診療を行うとともに、地域社会に貢献する。
 所在地：青森県十和田市東二十三番町35番1号
 設置年月：昭和43年9月1日
 規模等：V10号館 7,693.25㎡内
 患畜頭数 13,526頭／年

名称：獣医学部附属フィールドサイエンスセンター 十和田農場
 目的：獣医学部の附属教育研究施設として土地、動物、植物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与する。
 所在地：青森県十和田市東二十三番町35番1号
 設置年月：平成13年4月1日
 規模等：農場 112,911.00㎡
 飼育家畜数 139頭

名称：獣医学部附属フィールドサイエンスセンター 八雲牧場
 目的：獣医学部の附属教育研究施設として土地、動物、植物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与する。
 所在地：北海道二海郡八雲町上八雲751番地
 設置年月：昭和51年4月
 規模等：牧場3,521,932.19㎡
 飼育家畜数 377頭

名称：獣医学部附属獣医臨床試験センター
 目的：獣医学部附属動物病院における治験を行い、獣医療の質の向上に資する科学的根拠を創り出す治験及び臨床研究を推進、実施する。
 所在地：青森県十和田市東二十三番町35番1号
 設置年月：令和3年8月1日

<p>附属施設の概要</p>	<p>名称：医学部附属遺伝子高次機能解析センター 目的：遺伝子高次機構解析を中核とした生命科学領域の基礎研究・応用研究と高度専門教育を行う。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成17年4月1日</p>	
	<p>名称：医学部附属バイオイメーjing研究センター 目的：細胞レベルの形態および体内の活性標的分子の挙動等の解析を中核とした生命科学領域の基礎研究・応用研究を行う。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成18年4月1日</p>	
	<p>名称：医学部附属医学教育研究開発センター 目的：医学教育を取巻く変革の現状を踏まえて、時代に則した卒前・卒後の臨床医学教育の研究開発を行い、もって医学教育の発展と向上に寄与する。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成17年4月1日</p>	
	<p>名称：医学部附属臨床研究センター 目的：医療の質向上に資する治験及び臨床研究の推進と人材育成を行う。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成20年4月1日</p>	
	<p>名称：医学部附属新世紀医療開発センター 目的：先端医療領域開発部門と横断的医療開発部門を置き、臨床教育の活性化を図る。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成25年4月1日</p>	
	<p>名称：海洋生命科学部附属三陸臨海教育研究センター 目的：三陸海域の生態系・海洋環境及び海洋生物の生産・有効活用に関する総合的な研究の推進を行う。 所在地：岩手県大船渡市三陸町越喜来字鳥頭160-4 設置年月：平成26年4月1日</p>	
	<p>名称：理学部附属疾患プロテオミクス・センター 目的：網羅的モノクロナール抗体作製、抗体産生細胞バンク確立、抗体医薬開発の基礎研究等を行う。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成17年4月1日</p>	
	<p>名称：医療衛生学部附属再生医療・細胞デザイン研究施設 目的：再生医療及び細胞治療の基礎技術の研究開発及び教育並びに実験動物による研究開発及び教育を行う。 所在地：神奈川県相模原市南区北里一丁目15番1号 設置年月：平成18年4月1日</p>	

学校法人北里研究所 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度

	入学定員	編入学定員			収容定員
		2年次	3年次	4年次	
薬学部					
薬学科(6年制)	260	-	-	-	1,560
生命創薬科学科	35	-	-	-	140
獣医学部					
獣医学科(6年制)	120	-	-	-	720
動物資源科学科	130	-	-	-	520
生物環境科学科	90	-	-	-	360
医学部(6年制)	109	-	-	-	659
海洋生命科学部	180	-	-	-	720
看護学部	125	-	-	-	500
理学部					
物理学科	53	-	-	-	212
化学科	80	-	-	-	320
生物科学科	80	-	-	-	320
医療衛生学部					
保健衛生学科	40	-	-	-	160
医療検査学科	105	-	-	-	420
医療工学科					
臨床工学専攻	45	-	-	-	180
診療放射線技術科学専攻	70	-	-	-	280
リハビリテーション学科					
理学療法専攻	45	-	-	-	180
作業療法専攻	40	-	-	-	160
言語聴覚療法専攻	30	-	-	-	120
視覚機能療法専攻	30	-	-	-	120
未来工学部 学部の設置(認可申請)					
データサイエンス学科	100	-	-	-	400
大学全体	1,667	-	-	-	7,651

令和5年度

	入学定員	編入学定員			収容定員	変更の事由
		2年次	3年次	4年次		
薬学部						
薬学科(6年制)	260	-	-	-	1,560	
生命創薬科学科	35	-	-	-	140	
獣医学部						
獣医学科(6年制)	120	-	-	-	720	
動物資源科学科	130	-	-	-	520	
生物環境科学科	90	-	-	-	360	
医学部(6年制)	125	-	-	-	675	定員変更(16)
海洋生命科学部	180	-	-	-	720	
看護学部	125	-	-	-	500	
理学部						
物理学科	53	-	-	-	212	
化学科	80	-	-	-	320	
生物科学科	80	-	-	-	320	
医療衛生学部						
保健衛生学科	40	-	-	-	160	
医療検査学科	105	-	-	-	420	
医療工学科						
臨床工学専攻	45	-	-	-	180	
診療放射線技術科学専攻	70	-	-	-	280	
リハビリテーション学科						
理学療法専攻	45	-	-	-	180	
作業療法専攻	40	-	-	-	160	
言語聴覚療法専攻	30	-	-	-	120	
視覚機能療法専攻	30	-	-	-	120	
未来工学部 学部の設置(認可申請)						
データサイエンス学科	100	-	-	-	400	
大学全体	1,783	-	-	-	8,067	

※医学部の収容定員に関しては、基本計画書(新設学部等の概要)記載の数値と合わせております。

令和4年度

北里大学大学院	入学定員	編入学定員	収容定員
薬学研究科			
薬科学専攻(M)	25	-	50
薬学専攻(4年制D)	3	-	12
薬科学専攻(D)	6	-	18
獣医学系研究科			
動物資源科学専攻(M)	5	-	10
生物環境科学専攻(M)	5	-	10
獣医学専攻(4年制D)	3	-	12
動物資源科学専攻(D)	3	-	9
海洋生命科学研究所			
海洋生命科学専攻(M)	12	-	24
海洋生命科学専攻(D)	3	-	9
看護学研究科			
看護学専攻(M)	15	-	30
看護学専攻(D)	4	-	12
理学研究科			
分子科学専攻(M)	14	-	28
生物科学専攻(M)	11	-	22
分子科学専攻(D)	2	-	6
生物科学専攻(D)	3	-	9
医療系研究科			
医科学専攻(M)	40	-	80
医学専攻(4年制D)	40	-	160
感染制御科学府			
感染制御科学専攻(M)	18	-	36
感染制御科学専攻(D)	4	-	12
計	216	-	549

令和5年度

北里大学大学院	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
薬学研究科				
薬科学専攻(M)	25	-	50	
薬学専攻(4年制D)	3	-	12	
薬科学専攻(D)	6	-	18	
獣医学系研究科				
動物資源科学専攻(M)	5	-	10	
生物環境科学専攻(M)	5	-	10	
獣医学専攻(4年制D)	3	-	12	
動物資源科学専攻(D)	3	-	9	
海洋生命科学研究所				
海洋生命科学専攻(M)	12	-	24	
海洋生命科学専攻(D)	3	-	9	
看護学研究科				
看護学専攻(M)	15	-	30	
看護学専攻(D)	4	-	12	
理学研究科				
分子科学専攻(M)	14	-	28	
生物科学専攻(M)	11	-	22	
分子科学専攻(D)	2	-	6	
生物科学専攻(D)	3	-	9	
医療系研究科				
医科学専攻(M)	40	-	80	
医学専攻(4年制D)	40	-	160	
感染制御科学府				
感染制御科学専攻(M)	18	-	36	
感染制御科学専攻(D)	4	-	12	
計	216	-	549	

令和4年度

北里大学 保健衛生専門学院	入学定員	編入学定員	収容定員
臨床検査技師養成科(3年制)	80	-	240
管理栄養科(4年制)	80	-	320
保健看護科(4年制)	80	-	320
臨床工学専攻科(1年制)	30	-	30
計	270	-	910

令和5年度

北里大学 保健衛生専門学院	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
臨床検査技師養成科(3年制)	80	-	240	
管理栄養科(4年制)	80	-	320	
保健看護科(4年制)	80	-	320	
臨床工学専攻科(1年制)	30	-	30	
計	270	-	910	

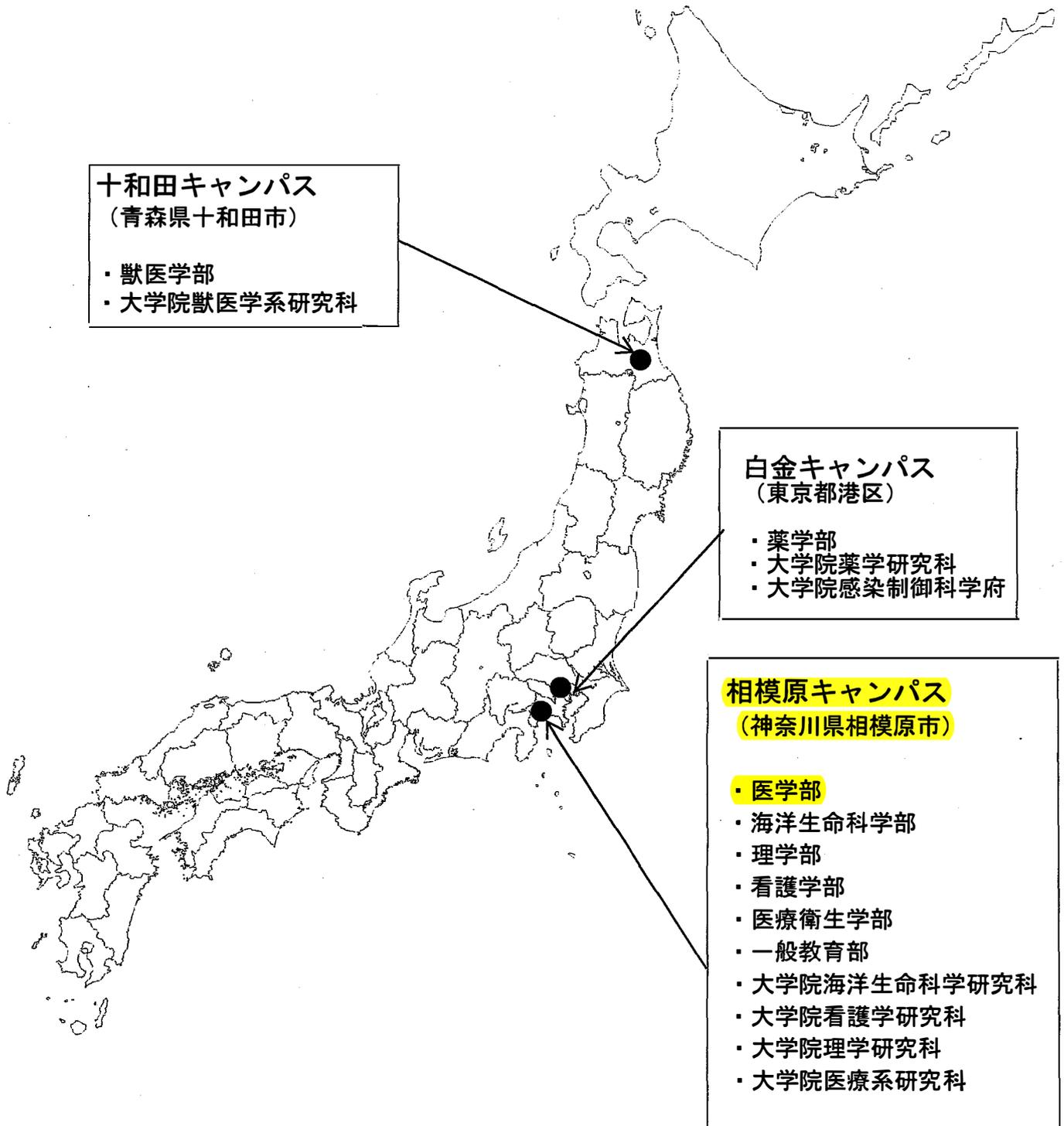
令和4年度

北里大学 看護専門学校	入学定員	編入学定員	収容定員
看護学科(3年制)	40	-	120
計	40	-	120

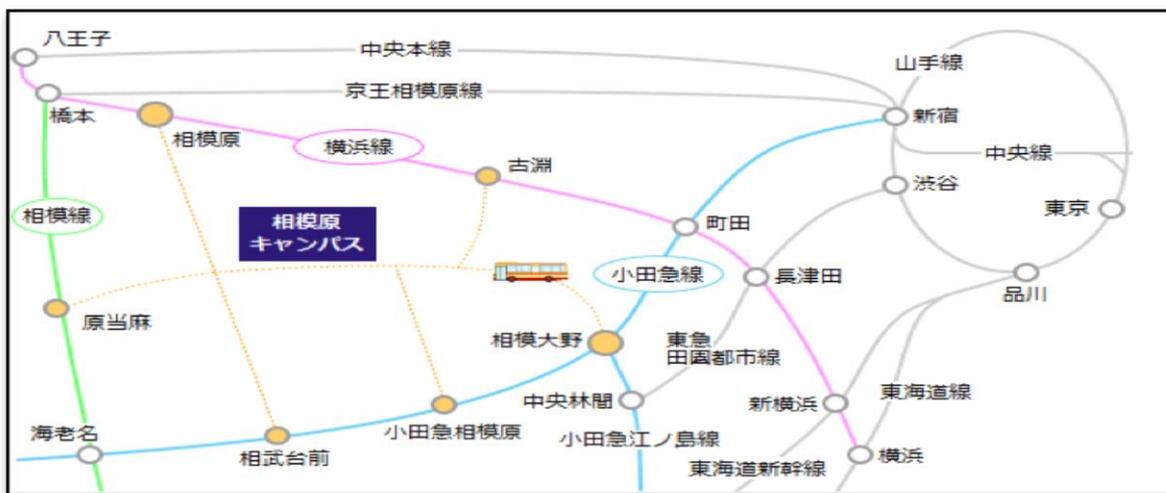
令和5年度

北里大学 看護専門学校	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
看護学科(3年制)	40	-	120	
計	40	-	120	

都道府県内における位置関係の図面



最寄り駅からの距離,交通機関及び所要時間が分かる図面



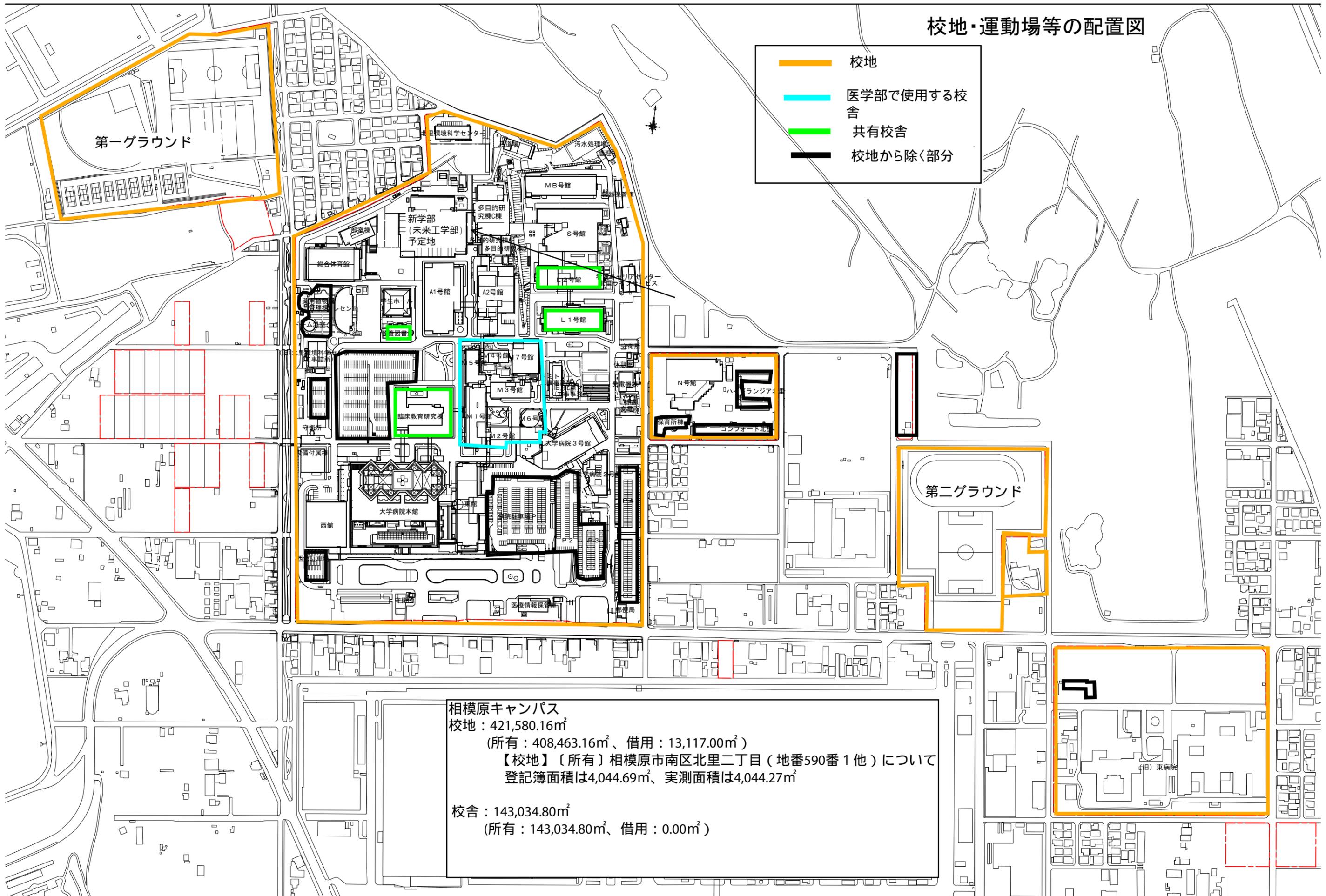
環境図 <https://www.google.co.jp/maps/@35.5397572,139.3938834,15z> より引用

<主な交通手段>

小田急線相模大野駅またはJR相模原駅からバスで約25分(距離:約5km)
(神奈中バス バス停「北里大学病院・北里大学」下車)

校地・運動場等の配置図

- 校地
- 医学部で使用する校舎
- 共有校舎
- 校地から除く部分



相模原キャンパス
 校地：421,580.16㎡
 (所有：408,463.16㎡、借用：13,117.00㎡)
 【校地】〔所有〕相模原市南区北里二丁目（地番590番1他）について
 登記簿面積は4,044.69㎡、実測面積は4,044.27㎡
 校舎：143,034.80㎡
 (所有：143,034.80㎡、借用：0.00㎡)

2023年度
北里大学学則
(案)

学校法人 北里研究所

北里大学学則

<略>

(入学定員、編入学定員及び収容定員)

第8条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	入学定員	(編入学定員)			編入学 収容定員	収容定員
			2年次編入	3年次編入	4年次編入		
薬学部	薬学科	260名					1,560名
	生命創薬科学科	35名					140名
	学部計	295名					1,700名
獣医学部	獣医学科	120名					720名
	動物資源科学科	130名					520名
	生物環境科学科	90名					360名
	学部計	340名					1,600名
医学部	医学科	110名					660名
	学部計	110名					660名
海洋生命科学部	海洋生命科学科	180名					720名
	学部計	180名					720名
看護学部	看護学科	125名					500名
	学部計	125名					500名
理学部	物理学科	53名					212名
	化学科	80名					320名
	生物科学科	80名					320名
	学部計	213名					852名
医療衛生学部	保健衛生学科	40名					160名
	医療検査学科	105名					420名
	医療工学科	115名					460名
	臨床工学専攻	45名					180名
	診療放射線技術科学専攻	70名					280名
	リハビリテーション学科	145名					580名
	理学療法学専攻	45名					180名
	作業療法学専攻	40名					160名
	言語聴覚療法学専攻	30名					120名
	視覚機能療法学専攻	30名					120名
	学部計	405名					1,620名
未来工学部	データサイエンス学科	100名					400名
	学部計	100名					400名
	計	1,768名					8,052名

<略>

附則（北学総第 2019-01219 号、北学総第 2019-03539 号、北学総第 2019-07123 号、北学総第 2019-07444 号、北学総第 2019-13334 号）

- この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2020 年度から 2021 年度までの医学部の入学定員を 118 名とする。また、2022 年度から 2023 年度までの医学部の入学定員を 109 名とする。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部及び看護学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
医学部	医学科	713名	712名	702名	692名	683名	674名	666名	658名	659名	660名
看護学部	看護学科	505名	500名	495名	500名						

<略>

附則（北学総第 2021-03403 号、北学総第 2021-04597 号、北学総第 2021-06352 号、北学総第 2021-10214 号、北学総第 2021-11472 号）

- この学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2022 年度の医学部の入学定員を 120 名とする。また、2023 年度の医学部の入学定員を 109 名とする。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
医学部	医学科	713名	703名	694名	685名	677名	669名	659名	660名

- 第 13 条（授業科目及び単位数等）に定める別表 2, 3 については、獣医学部獣医学科及び医学部にあつては 2022 年度入学者及び在学者から、獣医学部生物環境科学科、看護学部及び医療衛生学部にあつては 2022 年度入学者から適用する。ただし、医療衛生学 4 群科目については、医療衛生学部（全学科）の 2022 年度入学者及び在学者から適用する。
- 第 25 条（教員の免許状の所要資格の取得）に定める別表 4-①については、2022 年度入学者から適用する。
- 第 36 条（休学）、第 37 条（休学期間）及び第 45 条（休学期間中の在籍料）については 2022 年度入学者及び在学者から適用する。
- 第 43 条（学費）について、薬学部にあつては 2022 年度入学者から適用する。

附則（北学総第 2022-*****号）

- この学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2023 年度の医学部の入学定員を 125 名とする。
- 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
医学部	医学科	719名	710名	701名	693名	685名	675名	660名

(以下省略)

学則の変更事項を記載した書類

附則に以下の内容を規定する。

- 1 施行年月日（2023年4月1日）を規定する。
- 2 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2023年度の医学部の入学定員を125名とすることを規定する。
- 3 第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行について規定する。

以上

北里大学学則新旧対照表

2023 年度学則（新）							2022 年度学則（旧）								
（入学定員、編入学定員及び収容定員） 第 8 条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。							（入学定員、編入学定員及び収容定員） 第 8 条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。								
学部	学科・ 専攻	入学 定員	（編入学定員）			編入学 収容 定員	収容 定員	学部	学科・ 専攻	入学 定員	（編入学定員）			編入学 収容 定員	収容 定員
			2年次 編入	3年次 編入	4年次 編入						2年次 編入	3年次 編入	4年次 編入		
(略)							(略)								
医学部	医学科	110名					660名	医学部	医学科	110名					660名
	学部計	110名					660名		学部計	110名					660名
<略>							<略>								
附則（北学総第 2019-03539 号、…（略）…、北学総第 2019-13334 号）							附則（北学総第 2019-03539 号、…（略）…、北学総第 2019-13334 号）								
1 この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。							1 この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。								
2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2020 年度から 2021 年度までの医学部の入学定員を 118 名とする。また、2022 年度から 2023 年度までの医学部の入学定員を 109 名とする。							2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2020 年度から 2021 年度までの医学部の入学定員を 118 名とする。また、2022 年度から 2023 年度までの医学部の入学定員を 109 名とする。								
3 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部及び看護学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。							3 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部及び看護学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。								

※以下、看護学部については省略

学部	学科	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
医学部	医学科	713	712	702	692

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
683	674	666	658	659	660

(第4項省略)

<略>

附 則（北学総第 2021-03403 号、…（略）…、北学総第 2021-14827 号）

- 1 この学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2022 年度の医学部の入学定員を 120 名とする。また、2023 年度の医学部の入学定員を 109 名とする。
- 3 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
医学部	医学科	713	703	694	685

2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
677	669	659	660

※以下、看護学部については省略

学部	学科	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
医学部	医学科	713	712	702	692

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
683	674	666	658	659	660

(第4項省略)

<略>

附 則（北学総第 2021-03403 号、…（略）…、北学総第 2021-14827 号）

- 1 この学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定にかかわらず、2022 年度の医学部の入学定員を 120 名とする。また、2023 年度の医学部の入学定員を 109 名とする。
- 3 第 8 条（入学定員、編入学定員及び収容定員）に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
医学部	医学科	713	703	694	685

2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
677	669	659	660

(第4項以降省略)

附 則 (北学総第 2022-*****号)

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 第8条(入学定員、編入学定員及び収容定員)の規定にかかわらず、2023年度の医学部の入学定員を125名とする。
- 3 第8条(入学定員、編入学定員及び収容定員)に掲げる医学部の収容定員の学年進行については、次のとおりとする。

学部	学科	2023年度	2024年度	2025年度
医学部	医学科	719	710	701

2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
693	685	675	660

(新規)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容	…p. 2
イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性	…p. 2
ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
（ア）教育課程の変更内容	…p. 2
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容	…p. 2
（ウ）教員組織の変更内容	…p. 3
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容	…p. 3
（添付資料）「教育課程等の概要」（別記様式第2号（その2の1））	…p. 5
（添付資料）「令和5年度入学定員増員計画」の写し	…p. 10

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

北里大学学則第8条（入学定員、編入学定員及び収容定員）の規定（医学部入学定員110名）にかかわらず、2023年度の医学部の入学定員を125名とする。

※2020年度から2023年度までの間は、臨時的に入学定員を1名減としているため、2023年度の入学定員は125（110-1+16）名となる。

○収容定員の学年進行

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
収容定員	719	710	701	693	685	675	660

○収容定員の年度・学年別内訳

収容定員の学年進行内訳（単位：名）

年度	恒久定員	地域枠	入学定員	1年	2年	3年	4年	5年	6年	収容定員
2019	110	9	119	119	119	119	119	119	119	714
2020	109	9	118	118	119	119	119	119	119	713
2021	109	9	118	118	118	119	119	119	119	712
2022	109	11	120	120	118	118	119	119	119	713
2023	109	16	125	125	120	118	118	119	119	719
2024	110	0	110	110	125	120	118	118	119	710
2025	110	0	110	110	110	125	120	118	118	701
2026	110	0	110	110	110	110	125	120	118	693
2027	110	0	110	110	110	110	110	125	120	685
2028	110	0	110	110	110	110	110	110	125	675
2029	110	0	110	110	110	110	110	110	110	660

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

地域の医師確保等に早急に対応するために設定している地域枠11名について、2022年度で認可期限が満了となったが、文部科学省高等教育局医学教育課から、2023年度に限り16名（山梨県2名、茨城県4名、神奈川県5名、埼玉県2名（新設）、新潟県3名（新設））として、学則変更の手続きを進めることを認める旨の通知があった。

このことに基づき、医師不足解消に貢献することを目的とし、医学部の収容定員変更に係る学則変更を行う。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

収容定員変更に伴う教育課程の変更は生じない。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

①教育方法

収容定員変更後も、大学設置基準上の必要教員数を満たしており、教育方法の変更は予定していない。講義形式、実験・実習形式の授業いずれも、教室の収容定員内であることから授業内容の変更を行わずに対応することが可能で、収容定

員変更前と同等の教育効果を担保できる。

教育方法の変更は行わないため、入学定員が 16 名増加しても、そのままの体制を維持することが可能である。

②履修指導方法

前述のとおり教育方法の変更を予定しないことから、履修指導方法及び指導体制の変更も行わない。履修指導方法についてはシラバスに明記する。学生便覧には、学部暦、試験・進級諸規程、クラス主任一覧、学生相談室の利用方法等を掲載し、学生の指導体制及び学習サポートについて明記する。また、学年初めに実施するオリエンテーション、ガイダンスにおいて、シラバス、学生便覧等の活用を説明する。学生の進路、履修等、個人的相談にはクラス主任、学年主任及び全学年の学生が横断的に所属する少人数制の一般懇和会が中心となって対応する。また、第 1 学年から第 4 学年の学業不振者及び留年者を対象とした、特定懇和会は、学習方法等に特化した相談及び指導による対応を行っている。

履修指導方法の変更は行わないため、入学定員が 16 名増加しても、そのままの体制を維持することが可能である。

(ウ) 教員組織の変更内容

収容定員変更に伴う教員組織の変更は行わない。2022 年 5 月 1 日時点の医学部の専任教員は計 738 名（うち教授 72 名）で構成され、大学設置基準上の必要専任教員数（計 140 名、うち教授数 30 名）と比較して大幅に上回っている。また、2022 年 5 月 1 日時点の医学部学生在籍者数は 738 名で、教員一人当たりの学生数は 1.0 名であり、教育の質は十分担保されているため、入学定員が 16 名増加しても、引き続き教育の質を担保することが可能である。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

過去 10 年間の各学年の在学者数は下表のとおりである。留年生を含む平均在籍者数は、全学年を通し 120 名前後で、最大在籍者数は、2021 年度の第 6 学年の 137 名であった。これらの実績から、収容定員変更後も、授業・実習については、現状の施設・設備で十分対応できる。

施設・設備の変更は行わないため、入学定員が 16 名増加しても、そのままの体制を維持することが可能である。

各学年の在籍者数（単位：名 当該年度5月1日現在）

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
H25	125	123	110	122	121	107
H26	126	133	113	112	120	129
H27	123	136	120	115	109	125
H28	123	126	126	125	115	112
H29	124	125	120	135	118	123
H30	125	123	124	122	126	130
R1	129	124	115	131	119	129
R2	125	127	122	117	124	128
R3	121	128	118	128	115	137
R4	130	116	118	123	123	128
平均	125.1	126.1	118.6	123	119	124.8

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(医学部医学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
1 群 科 目	文化 の 領 域	哲学の楽しみA	1前		2		○							兼1			
		哲学の楽しみB	1後		2		○							兼1			
		科学を考えるA	1前		2		○							兼1			
		科学を考えるB	1後		2		○							兼1			
		芸術の楽しみA	1前		2		○							兼2	複数クラス		
		芸術の楽しみB	1後		2		○							兼2	複数クラス		
		倫理学A	1前		2		○							兼2	複数クラス		
		倫理学B	1後		2		○							兼1			
		文学の楽しみA	1前		2		○							兼1			
		文学の楽しみB	1後		2		○							兼1			
		信仰と救いA	1前		2		○							未開講			
		信仰と救いB	1後		2		○							未開講			
1 群 科 目	人 間 形 成 の 基 礎 科 目	社 会 の 領 域	日本国憲法A	1前		2		○						兼1			
			日本国憲法B	1後		2		○						兼2	複数クラス		
			法律の役割A	1前		2		○							兼1		
			法律の役割B	1後		2		○								未開講	
			経済のしくみA	1前		2		○							兼1		
			経済のしくみB	1後		2		○							兼1		
			個人と社会A	1前		2		○							兼1		
			個人と社会B	1後		2		○							兼1		
			政治のしくみA	1前		2		○								未開講	
			政治のしくみB	1後		2		○								未開講	
			文化人類学A	1前		2		○							兼1		
			文化人類学B	1後		2		○								未開講	
			日本と国際社会A	1前		2		○								未開講	
			日本と国際社会B	1後		2		○								未開講	
			環境を考えるA	1前		2		○								未開講	
			環境を考えるB	1後		2		○								未開講	
			歴史と人間A	1前		2		○								兼1	
			歴史と人間B	1後		2		○								兼1	
			心理学A	1前		2		○								兼2	複数クラス
心理学B	1後		2		○								兼1				
1 群 科 目	健 康 の 領 域	健康の科学A	1前		2		○							兼1			
		健康の科学B	1後		2		○							兼2	複数クラス		
		健康の科学C	1前・後		2		○							兼9	複数クラス・オムニバス		
		健康とスポーツ演習	1通	2				○						兼3	複数クラス		
1 群 科 目	総 合 領 域 科 目	北里の世界	1前・後		1		○							兼6	オムニバス		
		仕事と人生	1前		1		○							兼8	オムニバス		
		農医連携論	1後		1		○			1	1			兼7	オムニバス		
1 群 科 目	基 礎 教 育 科 目	外 国 語 系	英語A I	1前	1			○						兼2	複数クラス		
			英語A II	1後	1			○						兼2	複数クラス		
			英語B I	1前	1			○						兼2	複数クラス		
			英語B II	1後	1			○						兼2	複数クラス		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
1群科目	情報系・数理系 数学 統計学A	1前	4			○									兼2	複数クラス	
		1通	4			○									兼1	複数クラス	
	自然科学系 物理学 物理学実験 化学 化学実験 生物学 生物学実験	1前	3			○										兼1	
		1後	1					○							兼7		
		1前	3			○									兼1		
		1前	1					○							兼7		
		1前	3			○									兼1		
		1前	1					○							兼13		
	教養演習系 教養演習A 教養演習B 教養演習C 大学基礎演習 言語と文化A	1通			2		○								兼2	複数クラス	
		1前			1		○								兼4	複数クラス	
		1後			1		○								兼2	複数クラス	
		1前・後			1		○								兼4	複数クラス	
		1通	2				○								兼4	複数クラス	
	小計 (56科目)	—	28	73	5	—			1	1				兼77			
2群科目	医学原論・医学原論演習	1通	3			○			2	2	2			兼12	複数クラス・オムニバス		
	生化学序説	1前	1			○			1	1					オムニバス		
	細胞生物学	1前	2			○			4	1	2			兼1	オムニバス		
	タンパク質化学	1後	1			○			2	1	2				オムニバス		
	放射線健康リスク科学	3前	1			○			2						オムニバス		
	医学英語Ⅰ	2前・後	2			○								兼4	複数クラス・オムニバス		
	医学英語Ⅱ	3通	2			○			2	1	1	1		兼4	複数クラス・オムニバス		
	小計 (7科目)	—	12			—			11	4	6	1		兼19			
3群科目	組織学	2前	2			○			1	1	1			兼1	オムニバス		
	組織学実習	2前	1					○	1	1	1	1			オムニバス		
	解剖・発生学Ⅰ	1後	2			○			2	2	2				オムニバス		
	解剖・発生学Ⅱ	1後	1			○			1	1					オムニバス		
	解剖・発生学Ⅲ	2前	1			○			1	2	2				オムニバス		
	解剖学実習	2前	4					○	1	2	2			兼1	オムニバス		
	神経解剖学・実習	2前	1					○	1	1	1	1			オムニバス		
	生理学	2前	5			○			1	1	2	1		兼3	オムニバス		
	生理学実習	2後	1					○	1	1	2	1		兼5	オムニバス		
	代謝学	1後	2			○			1	1	2				オムニバス		
	医化学・栄養学	2前	2			○			1	1	1				オムニバス		
	分子医化学実習	1後	1					○	4	2	7				オムニバス		
	微生物学総論・実習	2後	1					○	1		1	2		兼4	オムニバス		
	寄生虫学・熱帯医学	2後	1			○			1	1				兼1	オムニバス		
	病理学総論	2後	1			○			3		1			兼2	オムニバス		
	病理学総論実習	2後	1					○	3		2	6		兼2	オムニバス		
	薬理学総論	2前	2			○			2	1	2	1		兼1	オムニバス		
	薬理学実習	2後	1					○	2	1	2	1		兼4	オムニバス		
	臨床遺伝学	2後	1			○			1		3			兼7	オムニバス		
	遺伝子学	1後	2			○			1		4				オムニバス		
	免疫学総論・実習	2後	1					○	2		2	1		兼1	オムニバス		
	実験動物学・実習	1後	1					○	1	1		1			オムニバス		
	東洋医学	3後	1			○			1		2	1		兼9	オムニバス		
統合基礎医学	2後	1			○			11	4	7			兼1	オムニバス			
神経系	2後	2			○			2	2	2	1		兼3	オムニバス			
循環器系	2後	2			○			7	2	4	3		兼1	オムニバス			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
3群科目	呼吸器系	2後	2			○			5	1	3	1		兼6	オムニバス
	消化器系	3前	2			○			5	3	5	3		兼3	オムニバス
	血液造血器系	3前	1			○			3	1	1	4		兼1	オムニバス
	内分泌・代謝系	3前	1			○			3	3	2				オムニバス
	生殖機能妊娠分娩系	2後	1			○			1	1	2	4		兼6	オムニバス
	運動器系	3前	1			○			2	2	2	1		兼1	オムニバス
	腎尿路系	3前	1			○			2	2	3	3		兼2	オムニバス
	基礎腫瘍系	3前	1			○			4					兼3	オムニバス
	臨床腫瘍系	3後	1			○			7	1	2			兼4	オムニバス
	老年医学	4前	1			○			1					兼5	オムニバス
	感染症・免疫系診断・治療学	3前	2			○			2	3	2	4		兼1	オムニバス
	神経系診断・治療学	3後	3			○			2	2	7	1		兼1	オムニバス
	循環器系診断・治療学	3前	4			○			5	4	5	7		兼2	オムニバス
	呼吸器系診断・治療学	3前	2			○			4	1	1	2		兼6	オムニバス
	消化器系診断・治療学	3後	4			○			8	4	8	4		兼6	オムニバス
	血液造血器系診断・治療学	3後	1			○			2		1	6			オムニバス
	内分泌・代謝系診断・治療学	3後	2			○			2		2	5		兼6	オムニバス
	生殖機能妊娠分娩系診断・治療学	4前	3			○			2		3	4		兼4	オムニバス
	成長発達系診断・治療学	3後	3			○			3	1	3	12		兼7	オムニバス
	運動器系診断・治療学	3後	1			○			2	2	5	1		兼1	オムニバス
	腎尿路系診断・治療学	3後	1			○			3	3	4	1		兼3	オムニバス
	画像・臨床検査診断学	4前	1			○			4	2	4				オムニバス
	精神系診断・治療学	3後	2			○			1	2	1	5		兼5	オムニバス
	皮膚系診断・治療学	3後	1			○			1	3		5			オムニバス
	視覚系診断・治療学	4前	1			○			1	2	4	1		兼4	オムニバス
	耳鼻咽喉・頭頸部系診断・治療学	4前	1			○			2	2	3	2		兼2	オムニバス
	救急侵襲医療系診断・治療学	4前	2			○			5	4	6	4		兼1	オムニバス
	予防医学系	4前	3			○			2		5	2		兼11	オムニバス
	衛生・公衆衛生実習	5通	1					○	2		5	1		兼7	複数クラス・オムニバス
	公衆衛生実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		3			兼1	複数クラス・オムニバス
	法医学系	4前	2			○			1		1	2		兼5	オムニバス
	法医学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		1	2			複数クラス・オムニバス
	医療安全・管理学	1前・3前	1			○			1			1		兼5	オムニバス
	内科学総論（臨床実習入門含）	3・4前	6			○			4	2	4	1		兼1	オムニバス
	消化器内科実習	4後・5通	2					○	3	2	5	13		兼1	複数クラス・オムニバス
	内分泌・代謝内科実習	4後・5通	2					○	1		2	5			複数クラス・オムニバス
	循環器内科実習	4後・5通	2					○	1	1	4	17			複数クラス・オムニバス
	脳神経内科実習	4後・5通	2					○	1	1	3	8			複数クラス・オムニバス
	血液内科実習	4後・5通	2					○	1		1	5			複数クラス・オムニバス
	腎臓内科実習	4後・5通	2					○	1	2	5	5			複数クラス・オムニバス
呼吸器内科実習	4後・5通	2					○	2	1	2	5		兼5	複数クラス・オムニバス	
膠原病・感染内科実習	4後・5通	2					○	1	1	1	3		兼1	複数クラス・オムニバス	
消化器内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	3	2	5	12			複数クラス・オムニバス	
内分泌・代謝内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		2	5			複数クラス・オムニバス	
循環器内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	4	16			複数クラス・オムニバス	
脳神経内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	3	8			複数クラス・オムニバス	
血液内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		1	5			複数クラス・オムニバス	
腎臓内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	2	3	4		兼3	複数クラス・オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
3 群 科 目	呼吸器内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	3	1	2	5		兼5	複数クラス・オムニバス	
	膠原病・感染内科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	1	3			複数クラス・オムニバス	
	外科学総論	3後	1			○			6	3		1		兼1	オムニバス	
	外科実習	4後・5通	4					○	7	3	4	15			複数クラス・オムニバス	
	外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	7	3	4	14			複数クラス・オムニバス	
	小児科実習	4後・5通	3					○	2	1	2	9			複数クラス・オムニバス	
	小児科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	1	2	9			複数クラス・オムニバス	
	産婦人科実習	4後・5通	3					○	2		2	13			複数クラス・オムニバス	
	産婦人科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2		2	13			複数クラス・オムニバス	
	臨床検査診断学実習	5通	1					○	2		2	1			複数クラス・オムニバス ・総合診療医学実習	
	臨床検査診断学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		2	1			複数クラス・オムニバス	
	形成外科・美容外科実習	5通	1					○	1	1	3	4			複数クラス・オムニバス	
	形成外科・美容外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	3	4			複数クラス・オムニバス	
	救命救急医学実習	5通	1					○	1	1	1	8			複数クラス・オムニバス	
	救命救急医学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	1	10			複数クラス・オムニバス	
	心臓血管外科実習	5通	1					○	2	1	2	3			複数クラス・オムニバス	
	心臓血管外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	1	2	3			複数クラス・オムニバス	
	呼吸器外科実習	5通	1					○	2		2	1			複数クラス・オムニバス	
	呼吸器外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2		2	2			複数クラス・オムニバス	
	脳神経外科実習	5通	1					○	1	1	3	3			複数クラス・オムニバス	
	脳神経外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	3	3			複数クラス・オムニバス	
	放射線科実習	5通	1					○	3	1	2	4			複数クラス・オムニバス	
	画像診断学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	1	2	1			複数クラス・オムニバス	
	放射線腫瘍学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1			2			複数クラス・オムニバス	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習	5通	1					○	2	1	5	9			複数クラス・オムニバス	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	1	4	8			複数クラス・オムニバス	
	眼科実習	5通	1					○	1	1	3	8			兼2	複数クラス・オムニバス
	眼科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	3	8			兼2	複数クラス・オムニバス
	整形外科実習	5通	1					○	2	2	8	9			複数クラス・オムニバス	
	整形外科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	2	8	9			複数クラス・オムニバス	
	泌尿器科実習	5通	1					○	1	1	4	5			複数クラス・オムニバス	
	泌尿器科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	2	1	4	6			兼1	複数クラス・オムニバス
	皮膚科実習	5通	1					○	1		4	3			複数クラス・オムニバス	
	皮膚科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		4	3			複数クラス・オムニバス	
	精神科実習	4後・5通	3					○	1	1	1	10			兼2	複数クラス・オムニバス
	精神科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1	1	1	10			兼1	複数クラス・オムニバス
	麻酔科実習	5通	1					○	3	2	3	15			兼1	複数クラス・オムニバス
	麻酔科実習（選択実習）	5後・6前		3				○	3	2	3	15			兼1	複数クラス・オムニバス
	病理学臨床実習	5通	1					○	3		2	7			兼1	複数クラス・オムニバス
	病理実習（選択実習）	5後・6前		3				○	3		2	7			兼1	複数クラス・オムニバス
総合診療医学実習	4後・5通	3					○	1		1	4			複数クラス・オムニバス ・臨床検査診断学実習		
総合診療医学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		1	4			複数クラス・オムニバス		
東洋医学実習（選択実習）	5後・6前		3				○	1		2				兼12	複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅰ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅱ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅲ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅳ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅴ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	
学外実習Ⅵ（選択実習）	5後・6前		3				○	1							複数クラス・オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
3群科目	臨床実習 (KMC・北研病院) (選択実習)	5後・6前		3				○	14	4	2	26		兼21	複数クラス・オムニバス
	総合講義	6通	13			○			2						オムニバス
	チュートリアル教育Ⅰ	1後	1			○			4	2	14	7			複数クラス・オムニバス
	チュートリアル教育Ⅱ	3後	1			○			4	1	11	13			複数クラス・オムニバス
	医学研究入門Ⅰ	2後	1			○			3	3	2				オムニバス
	医学研究入門Ⅱ	3後	1			○			21	10	16	16		兼3	複数クラス・オムニバス
	早期体験学習Ⅰ	1通	1			○				2	1	1		兼2	複数クラス・オムニバス
	早期体験学習Ⅱ	2後	4			○			1	2	1			兼3	複数クラス・オムニバス
	行動科学・医療面接	2後・3後・4前	1			○			1	1	2			兼5	複数クラス・オムニバス
	医用情報学	1後	1			○			1					兼3	複数クラス・オムニバス
チーム医療論	1後	1			○			3	1	1			兼11	オムニバス	
小計 (133科目)	—	172	114			—		74	43	118	249		兼175		
合計 (196科目)		—	212	187	5		—	86	48	124	250		兼271		

学位又は称号	学士 (医学)	学位又は学科の分野	医学関係
卒業・修了要件及び履修方法		授業期間等	
○卒業要件 本学部に6年以上在学し、所定の単位を修得し、総合試験、共用試験医学系臨床実習後OSCEに合格した者は卒業とし、学士 (医学) の学位を授与する。(合計234単位) ○履修方法 1. 第1学年は、人間形成の基礎科目を除く当該学年の開講科目の全てに合格し、人間形成の基礎科目から4科目8単位以上修得する。 2. 第2学年及び第3学年は、配当科目の全てに合格する。 3. 第4学年は、当該学年の臨床実習科目を除く配当科目の全てに合格し、共用試験医学系CBT及び共用試験医学系臨床実習前OSCEに合格し、臨床実習科目の不合格科目が3科目以下であること。なお、臨床実習科目の不合格科目を有して進級した場合は、第5学年で当該科目を再履修しなければならない。 4. 第5学年は、配当科目及び前号に定める第4学年の再履修科目のうち、不合格科目が1科目以下であり、かつ総合試験に合格する。なお、臨床実習科目の不合格科目を有して進級した場合は、第6学年で当該科目を再履修しなければならない。 5. 第6学年は、当該学年の開講科目 (必修科目及び選択必修科目6科目) を修得する他、共用試験医学系臨床実習後OSCE及び総合試験に合格する。なお、第5学年次の不合格科目を有する者については、当該科目を再履修、合格する。		1 学年の学期区分	2 学期
		1 学期の授業期間	前期：1～19週 後期：22～50週
		1 時限の授業時間	1 群科目：90分 2・3 群科目：80分

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科 (学位の種類及び分野の変更等に関する基準 (平成十五年文部科学省告示第三十九号) 別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。) についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

大学名	国公立
北里大学	私立

1. 現在(令和4年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	713

↑
(収容定員計算用)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(ア)入学定員	119	119	119	118	118	120	713
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	119	119	119	118	118	120	713

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和5年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
109	0	0	659

↑
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	109	110	110	110	110	110	659
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	109	110	110	110	110	110	659
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	1	0	0	0	0	0	

3. 令和5年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
125	0	0	675

↑
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	125	110	110	110	110	110	675
(イ)2年次編入学定員							0
(ウ)3年次編入学定員							0
計	125	110	110	110	110	110	675
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	1	0	0	0	0	0	

増員希望人数 **16**

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	16
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
計	16

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 16

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	神奈川県	5
	茨城県	4
大学所在地以外の都道府県	山梨県	2
	埼玉県	2
	新潟県	3
計		16

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与 者数のうち多い 方の数
神奈川県	5	5	5	5	5
茨城県	2	2	4	4	4
山梨県	2	2	2	2	2
					0
					0
					0
計	9	9	11	11	11

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和3年度に実施した地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。	本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者) (6)本学が指定した神奈川県内の高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者または大学に入学した時点において神奈川県内に1年以上居住したことのある者	R1	神奈川県
学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。	本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者) (6)本学が指定した茨城県内の高等学校を卒業見込みの者または茨城県内に3年以上居住している者の子	R1	茨城県

学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力検査 論文 面接 調査書 推薦状 入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。	本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学学生で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者) (6)下記の①または②の条件を満たす者 ①本学が指定した山梨県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業見込みの者 ②地域枠一般選抜試験の場合は、次のいずれかに該当する者 1. 山梨県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業、あるいは卒業見込みの者 2. 保護者が山梨県内に居住している者で、山梨県外の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業、あるいは卒業見込みの者(該当者は住民票の提出が必要)	R1	山梨県
一般選抜試験(地域枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	1	1	【1次試験】 学力検査 【2次試験】 ・論文 ・面接 ・出身学校長の調査書 等により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。	1. 山梨県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業、あるいは卒業見込みの者 2. 保護者が山梨県内に居住している者で、山梨県外の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業、あるいは卒業見込みの者(該当者は住民票の提出が必要)	R4	山梨県 (募集人数は学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)で充足できなかった1名枠)
合計			12	11				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和4年度に実施する地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
			うち臨時定員分					

<p>学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)</p>	<p>(i)学校推薦型選抜</p>	<p>別枠(先行型)</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 <p>により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。</p>	<p>本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者</p> <p>(1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>(2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者</p> <p>(3)品行方正、情操豊かな者</p> <p>(4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者</p> <p>(5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者)</p> <p>(6)本学部が指定した神奈川県内の高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者または大学に入学した時点において神奈川県内に1年以上居住したことのある者</p>	<p>R1</p>	<p>神奈川県</p>
<p>学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)</p>	<p>(i)学校推薦型選抜</p>	<p>別枠(先行型)</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 <p>により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。</p>	<p>本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者</p> <p>(1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>(2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者</p> <p>(3)品行方正、情操豊かな者</p> <p>(4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者</p> <p>(5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者)</p> <p>(6)本学部が指定した茨城県内の高等学校を卒業見込みの者または茨城県内に3年以上居住している者の子</p>	<p>R1</p>	<p>茨城県</p>

<p>学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)</p>	<p>(i)学校推薦型選抜</p>	<p>別枠(先行型)</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。</p>	<p>本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者) (6)下記の①または②の条件を満たす者 ①本学部が指定した山梨県内の高等学校(中等教育学校、特別支援学校の後期課程を含む)を卒業見込みの者</p>	<p>R1</p>	<p>山梨県</p>
<p>学校推薦型選抜試験(地域枠指定校)</p>	<p>(i)学校推薦型選抜</p>	<p>別枠(先行型)</p>	<p>2</p>	<p>2</p>	<p>・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。</p>	<p>本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在学中で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域枠の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者)</p>	<p>R4</p>	<p>埼玉県</p>

学校推薦型選抜試験(地域校指定校)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力検査 ・論文 ・面接 ・調査書 ・推薦状 ・入学志願者面接票 により入学志願者の能力・適性等を総合して判定します。	本学部が過去の実績等に基づく「選定基準」に従って本年度指定する全日制の高等学校若しくは中等教育学校の在籍学生で、学校長が次のすべてに該当する人物として責任をもって推薦する者 (1)2021年4月1日から2022年3月31日までに卒業した者及び卒業見込みの者 (2)医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有する者 (3)品行方正、情操豊かな者 (4)出願する各地域校の趣旨を十分理解し、その趣旨に基づく地域医療に貢献することができる者 (5)成績優秀にして大学専門教育に適する者(全体の学習成績の状況が4.0以上の者)	R4	新潟県
合計			16	16				

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
 ※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

第3学年「内科学総論」では、総合診療・地域医療・在宅医療の役割、超高齢社会において求められる医師について学んでいる。第4学年「予防医学系」では、地域医療の実践と地位における研究、及び保健所の機能を含む地域医療行政について学んでいる。第4～第6学年の臨床実習(必修・選択必修)「総合診療医学実習」では、地域医療、在宅診療、訪問診療、地域包括ケアシステムの意義と必要性等を学ぶ。

(参考:記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成22年度から地域枠による増員を開始し、令和3年度までに55名の地域枠学生を確保し、15名が卒業、14名が現在地域医療に貢献している。

(参考:記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
3	内科学総論	全員	必修	必修	講義	6	H21以前
4	予防医学系	全員	必修	必修	講義	3	H21以前
5	総合診療医学実	全員	必修	必修	実習	3	H21以前
6	総合診療医学実	全員	選択必修	選択必修	実習	3	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。)

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
 ※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
相模原市地域医療医師修学資金	相模原市旧津久井地域の医師不足を解消することを目的としてい	H26

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
神奈川県	5	新入生	100,000	7,200,000	大学卒業後、初期臨床研修を含む9年間知事が指定する医療機関、診療科に従事	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	○	産科、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科及び総	
茨城県	4	新入生	250,000	18,000,000	大学卒業後1年6か月以内に医師免許を取得した後、直ちに茨城県知事の指定する医療機関で9年間従事	④その他(備考欄に記入)	○	×		大学における選抜前に、県において、地域枠制度の理解徹底を目的とした「eラーニング」を全出願者に対して実施
山梨県	2	新入生	130,000	9,360,000	医師免許取得後、15年間の間に9年間知事が指定する山梨県内の特定公立病院に勤務	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	×		
埼玉県	2	新入生	200,000	14,400,000	医師免許を得た後、直ちに奨学金貸与期間の1.5倍の期間(通常は6年間の貸与期間に対して9年間)、特定地域の公的医療機関に医師として引き続いて勤務(特定地域の公的医療機関以外の埼玉県内の臨床研修病院で臨床研修を受講する場合を含む。)をしたときまたは特定診療科等(埼玉県内の病院の産科、小児科、救命救急センター)に医師として勤務したとき	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	○	産科、小児科、救命救急センター(ただし、特定地域の公的医療機関に医師として勤務(特定地域の公的医療機関以外の埼玉県内の臨床研修病院で臨床研修を受講する場合を含む。)をしたときは診療科の指定なし)	

新潟県	3	新入生	500,000	36,600,000	以下の要件を全て満たした場合、返還が免除される。 ・大学卒業後、2年以内に医師免許を取得すること ・医師免許取得後、直ちに新潟県が指定する医療機関等に9年間勤務すること(注) 注1:9年間には、臨床研修の2年間を含む。9年間勤務することで、修学資金の返還が全額免除される。 注2:9年間のうち5年間は新潟県内の次の医療機関に勤務すること。(医療機関は調整中) 注3:臨床研修終了後、内科、外科、総合診療科又は小児科の医師	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	○	内科、外科、総合診療科又は小児科	貸与開始月のみ貸与額は1,100,000円

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例:在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
地域枠医師ガイダンス	県内医師による説明会	H27
地域枠医師進路面談	進路についての面談	H29

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1~2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 令和5年度研究医養成のための入学定員増について

大学が講ずる措置

※令和4年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

	連携大学	取組の概要(1~3行程度)	(連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合) 連携大学との役割分担(※1)	開始年度
No.1				
No.2				
No.3				

(※1)過去に研究医枠により入学定員増を実施したことがない大学のみご記入ください。過去に研究医枠による増員を行った大学については、当該欄は記入不要です。

2. 特別コース(※)の設定

(※)「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和4年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和5年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

(選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み(MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など)

--

(参考: 記入例)
 MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院での一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和4年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②研究医養成のための一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期 (※1)	コースの名称	年次	募集定員 (※2)	大学院への進学時期 (※3)	開始年度	備考
選抜入試		/				
特定の学年次に希望者を募集						
その他(備考欄に詳細を記入)						

(※1)複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

(※2)最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

(※3)特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。(例:5年次(MD-PhD)／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学)

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。	
-------------------------	--

(「○」を選択した場合)以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法(※1)	開始年度	備考
			うち臨時定員分			
合計		0	0			

(※1)貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容(正規科目)について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実 習の別	単位数	開始年度
			研究医コース 学生	その他の 学生			

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。(研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。)

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

(項目:専用入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会(1か月以上))

(項目)	概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②～⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。

(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

	R2	R3	R4	直近3年間の平均
人数(名)				#DIV/0!

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

①卒業後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。
 複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

	名称	設定主体 (例:大学、 〇〇財団)	給付/貸与 の別	支給対象	募集人数	選抜の有無	支給期間 (例:大学院1~3年次(3年 間))
No.1							
No.2							
No.3							

(続き)

	支給額 (例: 200,000)		返還免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1					
No.2					
No.3					

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R2	R3	R4	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数〔A〕				#DIV/0!
臨床系大学院進学者数〔B〕				#DIV/0!

(博士課程修了年度)	R1	R2	R3	直近3年間の平均
〔A〕の修了者数〔C〕				#DIV/0!
〔B〕のうち、基礎・社会学系の論文(又は共著論文)を執筆した修了者数〔D〕				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	R1	R2	R3	直近3年間の平均
〔C〕〔D〕のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数				#DIV/0!
〔C〕〔D〕のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数(※1)				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

(※1) 一度臨床系(基礎系以外)に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。
 (例: 臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者)

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

③大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度 (○年度～ ○年度)	概要(1～3行程度)

④他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績(科学研究費採択率等)

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要(1～3行程度)

(3) 過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和4年度における状況

①過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

(例:第三者による評価、学内委員会による評価)

--

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①学生確保の見通し	
ア 定員充足の見込み	…p. 2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	…p. 2
②学生確保に向けた具体的な取組状況	…p. 2
(2) 人材需要の動向等社会の要請	
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	…p. 3
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠	…p. 3

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

過去5年間（2018年度～2022年度）の内、2018年度～2019年度は、医学部地域枠入学者は山梨県・茨城県は手上げ方式事前型、神奈川県は手上げ方式事後型で一般入試として実施し、充足できていなかった。その後、2020年度～2022年度は別枠方式先行型で実施し、定員を全て充足しており、今後も同様の方式で実施することで、引き続き定員の充足が見込まれる。（資料1）

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

過去の入学状況や入学者の学修状況を踏まえて作成した「指定校選定基準」に則り、毎年指定校の選定を行っている。

地域枠指定校に関しては、今年度の指定校に過去10年間の指定校と山梨県、茨城県、埼玉県、新潟県からの推薦のあった高校を追加し、全151校を地域枠指定校として指定し、学生募集の案内や説明会を予定している。（資料2）

②学生確保に向けた具体的な取り組み状況

1) 入試制度の変更

引き続き別枠方式先行型に改め、各地域枠（山梨県、茨城県、神奈川県、埼玉県、新潟県）指定校推薦入学試験を実施する。また、当該試験により地域枠を充足できない場合は、地域枠一般入学試験を実施する。

2) 入試広報の充実

受験者との接触機会を増加することにより、志願者を安定的に確保するため、次のとおり対応している。

- ・オープンキャンパス（一部オンライン）において、高校生及び父母対象の模擬講義及び入試概要説明だけでなく、スキルスラボ等の施設見学会を行う。
- ・予備校及び入試関連業者が主催する相談会や説明会に積極的に参加する。
- ・受験雑誌や受験サイト等の各種外部の広報媒体において、入試情報について周知する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医学部	<p>【医学部医学科】</p> <p>医学部では、広く体系的な知識と確実な技術を持ち、それを深化させるよう最先端の医学知識を意欲的に吸収できるような自己研鑽学習を継続する人材を育成するとともに、開学以来実践されてきた「チーム医療」の実践家となるため、他者に共感し、協働して物事に取り組むことができ、倫理観を持って広く社会に貢献できる人材の育成を目的としています。</p> <p>そのための教育研究上の目的として、(1) 人間性豊かで優れた医師の養成 (2) 学際領域を含む医学研究の推進 (3) 国際貢献の推進と地域医療への協力 (4) 予防医学の推進、の4項目をあげ、教育の基本理念としています。</p>
-----	--

上記に加え、ディプロマポリシーに定める9つのアウトカムである「プロフェッショナリズムと倫理」「コミュニケーション能力」「医学知識と技術」「知的探求と自律的教育」「チーム医療」「医療の質と安全」「予防医学」「地域医療」「国際貢献」の各項目に定めるコンピテンシーを、医学部を卒業して医師となるものが身につけていることを目標としている。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

厚生労働省による「将来時点（2036年時点）における不足医師数等」（医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会（平成31年2月18日））（資料3）によると、医師数は、国内全体としては充足しているものの、依然として都市部と地方での偏在が顕著であり、地域医療への協力が求められている。

文部科学省により策定された「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）」では、「医師として求められる基本的な資質・能力」（資料4）として、「プロフェッショナリズム」、「医学知識と問題対応能力」、「コミュニケーション能力」、「チーム医療の実践」、「医療の質と安全の管理」などが求められており、上記①はこれらに合致している。

以上から、上記①に記載した人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的・目標は、引き続き社会のニーズに応えるものであると考える。

学生の確保の見通し等を記載した書類（添付資料）

<目次>

資料 1	過去 5 年間（2018 年度～2022 年度）の医学部入学試験状況	…p. 5
資料 2	2023 年度医学部指定校・地域枠指定校一覧	…p. 6
資料 3	「将来時点（2036 年時点）における不足医師数等」 平成 31 年 2 月 18 日医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 参考資料 4（厚生労働省）	…p. 7
資料 4	「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度改訂版）」 （文部科学省）	…p. 8

資料 1

過去5年間（2018（平成30）年度～2022（令和4）年度）の医学部入学試験状況

学校推薦型選抜試験（指定校）（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
2022(R4)	57	57	35	35	1.63
2021(R3)	74	74	35	35	2.11
2020(R2)	78	78	35	35	2.23
2019(H31)	71	71	38	38	1.87
2018(H30)	60	60	45	45	1.33

学校推薦型選抜試験（神奈川県地域枠指定校）（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
2022(R4)	7	7	5	5	1.40
2021(R3)	13	13	5	5	2.60
2020(R2)	11	11	5	5	2.20

学校推薦型選抜試験（茨城県地域枠指定校）（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
2022(R4)	4	4	4	4	1.00
2021(R3)	7	7	2	2	3.50
2020(R2)	2	2	2	2	1.00

学校推薦型選抜試験（山梨県地域枠指定校）（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
2022(R4)	1	1	1	1	1.00
2021(R3)	3	3	2	2	1.50
2020(R2)	3	3	2	2	1.50

一般選抜試験（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
2022(R4)	2186	2078	327	75	6.35
2021(R3)	1915	1826	401	73	4.55
2020(R2)	1970	1902	235	74	8.09
2019(H31)	1902	1823	290	81	6.29
2018(H30)	2644	2304	184	74	12.52

医学部入学試験状況（学校推薦型選抜試験及び一般選抜試験の合計）（単位：人）

	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率	定員超過率
2022(R4)	2255	2147	372	120	5.77	1.00
2021(R3)	2012	1923	445	117	4.32	0.99
2020(R2)	2064	1996	279	118	7.15	1.00
2019(H30)※	1973	1894	328	119	5.77	1.00
2018(H30)	2704	2364	229	119	10.32	1.00

※2018（H30）年度追加合格者 4 人については除く。

資料 2

※著作権者の許諾が得られない書類等

1. 書類等の題名

「2023 年度入試医学部指定校一覧」

2. 出典

北里大学医学部

3. 引用範囲

資料全体

4. その他の説明

本資料は、北里大学医学部の 2023 年度入試における指定校が一覧となっているものであるが、個別の高校名やそれぞれの高校の枠の数値といった情報も記載されており、それらは一般に公表していない内容である。

そのため、別紙「2023 年度医学部入試 都道府県別指定校数一覧」に差し替えて、公表する。

2023年度医学部入試 都道府県別指定校数一覧

No.	地域コード	所在地	一般枠	地域枠
1	01	北海道	2	2
2	02	青森	1	1
3	03	岩手	1	1
4	04	宮城	1	3
5	05	秋田	1	1
6	06	山形		1
7	07	福島	1	2
8	08	茨城	4	18
9	09	栃木	1	1
10	10	群馬	4	5
11	11	埼玉	6	22
12	12	千葉	1	1
13	13	東京	44	44
14	14	神奈川	17	51
15	15	新潟	1	33
16	16	富山		3
17	17	石川		3
18	18	福井		1
19	19	山梨	1	10
20	20	長野	1	4
21	22	静岡	5	5
22	34	広島	2	2
23	38	愛媛	1	1
24	39	高知	1	1
25	41	佐賀	1	1
26	43	熊本	1	1

医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 平成31年2月18日	参考 資料 4
--	---------------

将来時点（2036年時点）における不足医師数等（都道府県単位）

	不足医師数・過剰医師数				年間不足養成数・過剰養成数			H31臨時定員 (地域枠関係)
	供給-必要数（都道府県）		供給-必要数（2次医療圏）合計		都道府県		2次医療圏	
	上位推計	下位推計	上位推計	下位推計	上位推計	下位推計	上位推計	
	不足医師数	過剰医師数	不足医師数	過剰医師数	不足養成数	過剰養成数	不足養成数	
01北海道	-188	-1571	-1406	282	-1	-114	-101	20
02青森県	-439	-1225	-684	0	-17	-81	-37	27
03岩手県	-474	-1361	-744	0	-19	-91	-41	28
04宮城県	1142	-604	-290	76	113	-30	-4	28
05秋田県	-204	-646	-479	35	4	-32	-19	29
06山形県	32	-653	-262	0	13	-43	-11	15
07福島県	-804	-3500	-990	0	-32	-252	-47	48
08茨城県	202	-2376	-1402	400	49	-161	-81	47
09栃木県	98	-1700	-959	233	17	-129	-69	13
10群馬県	-51	-1837	-1110	254	9	-137	-78	18
11埼玉県	-1044	-5040	-1563	0	-66	-392	-108	27
12千葉県	636	-2302	-1112	849	76	-164	-67	34
13東京都	26645	13295	-929	16451	2190	1101	-58	25
14神奈川県	5009	-260	-592	1315	422	-7	-34	20
15新潟県	-1534	-1969	-1540	0	-108	-144	-109	24
16富山県	222	-432	-218	70	27	-27	-9	12
17石川県	911	217	-200	570	81	25	-9	10
18福井県	503	-164	-276	279	48	-6	-16	10
19山梨県	325	-250	-224	130	43	-4	-1	24
20長野県	-87	-550	-773	512	5	-33	-51	17
21岐阜県	542	-587	-316	306	62	-30	-8	25
22静岡県	-402	-2187	-995	0	2	-144	-47	49
23愛知県	1357	-727	-2250	2525	133	-37	-161	32
24三重県	391	-553	-203	200	46	-31	-3	20
25滋賀県	541	-149	-284	468	51	-5	-16	10
26京都府	4006	1291	-202	1991	330	109	-13	5
27大阪府	7703	4393	-152	4930	639	369	-2	15
28兵庫県	3642	77	-20	877	308	17	10	16
29奈良県	1236	-403	0	29	111	-22	11	15
30和歌山県	1093	193	-99	507	103	30	6	20
31鳥取県	216	-237	-152	106	31	-6	1	19
32島根県	168	-411	-191	106	26	-22	-4	17
33岡山県	2232	815	-85	1029	186	71	-3	6
34広島県	849	-356	-277	364	80	-18	-12	15
35山口県	-88	-965	-469	113	3	-68	-28	15
36徳島県	649	268	-28	327	61	30	6	12
37香川県	476	183	-27	327	49	25	8	14
38愛媛県	317	-659	-368	68	36	-43	-19	15
39高知県	452	-120	-130	83	47	1	0	15
40福岡県	5111	2684	-613	3732	420	222	-46	5
41佐賀県	820	176	-154	467	73	21	-6	9
42長崎県	716	49	-186	431	74	19	0	22
43熊本県	1671	-229	-360	690	143	-12	-22	10
44大分県	573	-234	-161	94	54	-12	-6	10
45宮崎県	-8	-472	-469	186	8	-30	-30	12
46鹿児島県	762	-182	-455	637	73	-4	-27	15
47沖縄県	1021	99	-81	515	92	16	2	12
合計（色付）	-5323	23739	-24480	42566	-243	2056	-1402	906

○ 医師として求められる基本的な資質・能力

1 プロフェッショナリズム

人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、患者中心の医療を実践しながら、医師としての道（みち）を究めていく。

2 医学知識と問題対応能力

発展し続ける医学の中で必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療<EBM>を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。

3 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨くとともにそれらを用い、また患者の苦痛や不安感に配慮しながら、診療を実践する。

4 コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な関係性を築き、意思決定を支援する。

5 チーム医療の実践

保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、連携する。

6 医療の質と安全の管理

患者及び医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。

7 社会における医療の実践

医療人として求められる社会的役割を担い、地域社会と国際社会に貢献する。

8 科学的探究

医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考も身に付けながら、学術・研究活動に関与する。

9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続ける。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	シマブクロ キョウコ 島袋 香子 <令和2年7月>		博士 (看護学)		北里大学長 (令和2年7月1日 ～令和6年6月30日)